

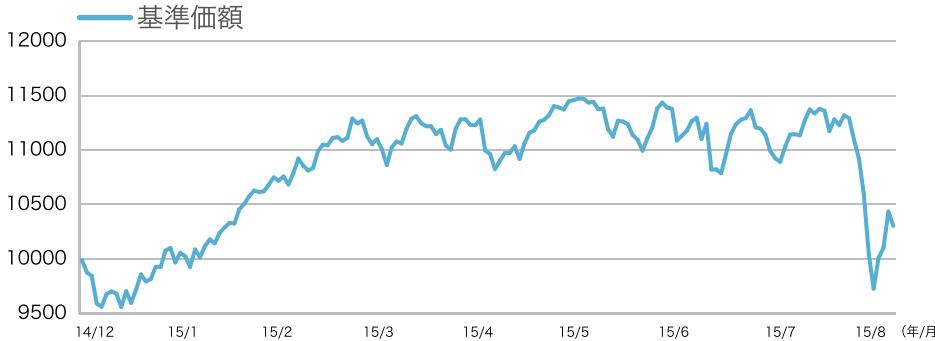


コモンズ30 +しづぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● 基準価額の騰落率

(2015年8月31日付)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	設定来
▲7.51%	▲10.07%	▲4.13%	3.04%

● 分配実績

初回決算未到来のため、分配金の実績はござません。なお、初回決算は2015年12月18日の予定です。

● 投資行動とパフォーマンス(コモンズ30+しづぎんファンド)

当ファンドは、コモンズ30マザーファンドを純資産総額の90%を組み入れ、静岡銀行株式を10%を上限として高位に組入れることを運用方針としています。8月末における各組入比率は、コモンズ30マザーファンド92.0%、静岡銀行株式7.8%です。当ファンドの月間リターンは7.51%の下落となりました。なお、コモンズ30マザーファンドは7.35%の下落、静岡銀行株式は8.7%の下落となっています。コモンズ30マザーファンドの運用状況については下記をご参照ください。

● 投資行動とパフォーマンス(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎8月のファンド月間リターンとその要因

8月のファンド月間リターンは7.35%の下落となりました。組入30銘柄の内、25銘柄がマイナスの月間リターンとなったことなどが要因として挙げられます。なお月間下落率上位5銘柄は、ユニー・チャーム(▲17.77%)、「日揮(▲16.33%)」、「三菱商事(▲15.84%)」、「日立製作所(▲15.24%)」、「資生堂(▲15.20%)」でした。あくまでご参考ですが、同月のTOPIXは7.38%の下落となり、当ファンドはTOPIXを0.03%上回りました。当ファンドは、株価下落からお客様の資産を守るために市場環境に応じて現金比率(株式組入比率)を機動的に変更できる投資方針も掲げていますが、今回の急落はリーマンショックや東日本大震災のような深刻な局面とは考えていなかったため、投資委員会の判断として月を通して現金比率を1%未満に維持していました。しかし、結果として月末にかけて世界同時株安が進行するなか、当ファンドもその影響を免れることは出来ませんでした。【※現金比率の決定プロセスについて、詳しくはP5「運用体制と役割」をご覧ください】一方で、当ファンドは社長兼運用最高責任者(CIO)の伊井が常日頃からお客様にお伝えしている通り、投資対象とする『強い企業』の株価が一時的に下落しても、こうした企業はしっかりと企業価値に見合うレベルにまで株価を戻していくと考えています。この『強い企業』とは、成長性や収益性などの『見える価値』に加え、ビジネスモデルの強さや経営者のリーダーシップ、ガバナンス、企業文化などの非財務情報から導き出される『見えない価値』を兼ね備えた、世代を超えて進化し続ける企業です。言い換えれば、あくまで投資の目線は30年であり、「株価水準」は投資判断に影響を与えないと考えています。

◎8月の組入銘柄(組入銘柄数、新規買付銘柄・全売却銘柄の有無)

8月末の組入銘柄は、前月と同様に30銘柄となりました。「投資委員会」において、運用部は全売却候補1銘柄を提案しました。提案銘柄について活発な議論が行われましたが、継続審議となっています。

◎8月末のポートフォリオと月間の投資行動

8月末において各銘柄の組入比率は最低3.1%～最大3.5%の範囲に收めています。組入上位10銘柄は、「楽天」、「東レ」、「ディスコ」、「味の素」、「旭化成」、「マキタ」、「日東电工」、「エーザイ」、「東京エレクトロン」、「ベネッセホールディングス」です。ファンド全体の株式組入比率は99.5%となり、残りの0.5%程度は現金などを保有しています。同比率は月を通して概ね99%程度を維持しました。組入銘柄間の投資行動としては、相対的に株価が下落していない「東レ」や「リンナイ」、「旭化成」などを一部売却し、株価下落により組入比率が低下した「ユニー・チャーム」や「日揮」、「三菱商事」などの銘柄を買い増しました。

◎運用・調査体制について

是非、5ページ目をご確認下さい。

● ファンドのデータ

(2015年8月31日付)

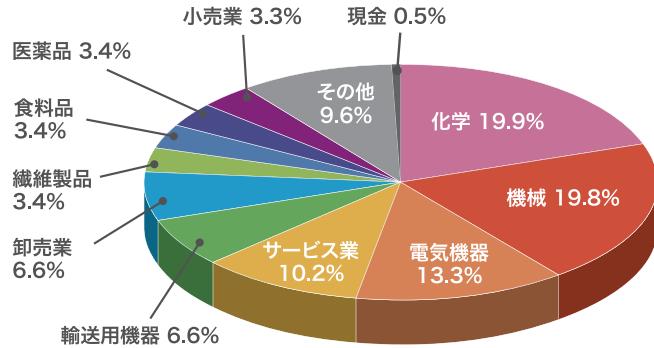
基準価額	10,304円
純資産総額	407百万円
受益権総口数	395百万口

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド(マザー)	92.0%	0.3%
静岡銀行株式	7.8%	▲0.4%
現金等・その他	0.1%	0.1%
構成銘柄	31社	±0社

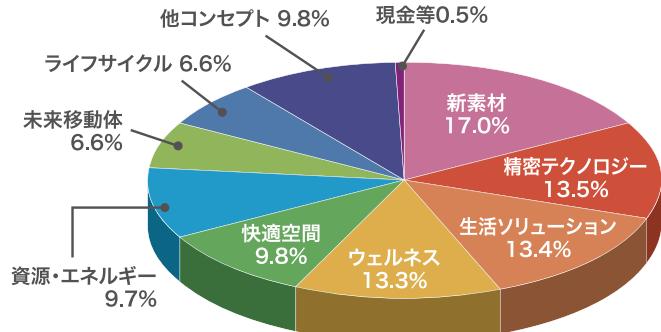
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎ 業種別構成比



◎ 未来コンセプト別構成比

(2015年8月31日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

※未来コンセプトは全10種類。詳細は5ページ参照

● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2015年8月31日付)

銘柄名 [コード]	業種	未来コンセプト	概要
楽天 [4755]	サービス業	生活ソリューション	社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立ちます。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行ってています。
東レ [3402]	繊維製品	新素材	レーヨンの生産から始まり、多角化しながら発展。繊維での縫製品事業や炭素繊維複合材料は顧客との強いコネクションを持ち、高い成長が期待されます。自前主義にはこだわらず、M&Aやアライアンスにも積極的。先端材料No.1企業を目指し邁進しています。
ディスコ [6146]	機械	精密テクノロジー	半導体やLEDの製造に欠かせないグラインダーやダイサーなどを製造しています。「誰が正しいかではなく、何が正しいか」などディスコバリューで、自社の経営体制も磨き続けています。
味の素 [2802]	食料品	ウェルネス	日本の昆布だから抽出した「うま味」を発見、世界の食文化に合わせた、調味料や加工・冷凍食品、飲料などを提供しています。2050年の世界人口90億人時代を見据え、東南アジア、中南米、アフリカで販売ネットワークを構築、ネスレ、ユニリーバ、ダノンを追いかけています。
旭化成 [3407]	化学	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業構成の転換により、収益性の向上を目指しています。先進的な開発に取り組む文化を持っており、人工腎臓やリチウム二次電池用セパレーターなどは世界トップクラスです。
マキタ [6586]	機械	快適空間	リチウムイオン電池など、軽量・低振動で使用者の健康に配慮をした製品開発を行い、利用時間が長いプロ向けで高いシェアを獲得しています。ものづくりだけでなく、保守メンテナンス体制も充実しており、先進国では原則3日で対応可能な修理体制を構築しています。
日東电工 [6988]	化学	新素材	成長が期待される環境や医療向けなどに事業領域を柔軟に変化させながら、固有の技術をベースに、シートやフィルムに付加価値を加えた製品で成長しています。それぞれの地域ごとに品質や価格を調整し、シェアの獲得を目指しています。
エーザイ [4523]	医薬品	ウェルネス	世界的な競争力のある創薬メーカーです。企業理念の定款への記載や、役員選任理由を明確にした200ページの株主総会招集通知の作成などガバナンスの基本観がとてもしっかりしています。
東京エレクトロン [8035]	電気機器	精密テクノロジー	「医療や環境、新しい産業の未来を考えるとチップの将来は無限」と会長は確信し、商社から出発、今や世界トップの半導体製造であるアプライドマテリアルの背中まで迫っています。経営はクレドの心温まるメッセージでけん引。愚直で本質的な挑戦を続けています。
ベネッセHD [9783]	サービス業	ライフサイクル	日本の通信教育事業において、圧倒的なシェアを誇ります。国内教育事業で培った知恵を用い、海外展開(台湾、中国、韓国)と事業領域拡大(介護、語学)で、変化し続ける環境を乗り越えて成長を目指しています。

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピック！

8月はユニ・チャームの株価が17.77%の大幅下落となりました。2015年1～6月期決算が低調だったことが悪材料視されたことに加え、中国株式市場の急落および中国・アジア景気の減速で、高い利益成長の今後の持続性に疑惑が広がってきた背景があります。同社にとって中国を含むアジアは、高いシェアを持つ地域で、ビジネスの重要な位置を占めます。ベビーケア（おむつ）、フェミニンケア（生理用品）、ヘルスケア（大人用おむつ）などの商品において、アジアではNo.1のシェアを有し、売上高および営業利益構成比の45%を占めています。8月初旬に発表した2015年1～6月期決算は営業利益が347億円（前年同期比で実質5%増）と会社計画の365億円を下回りました。中国の実体経済は不透明で、中国経済減速のアジア経済への波及、インバウンド需要に対する影響も今後の不安材料となっています。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● 企業との対話

【こどもトラストセミナーでクロネコヤマトの羽田クロノゲートに行こう！】Vol.2

先月に引き続き、8/2（日）に開催しましたクロネコヤマト様の羽田クロノゲートツアード子どもたちが書いた「しゃちょうさんへの手紙」を紹介していきたいと思います。

「今日は見学をさせてくれてありがとうございました。わたしもこここのしごとをしたくなりました。とても楽しかったです。」（8歳・女の子）

「しゃ長さんはいつもいそがしいですか。これからもリーダーとしてがんばってください。」（8歳・男の子）

「おしごとがんばってくださいね。おうえんしています。これからも、はいたつながんばってください。」（7歳・女の子）

「ベルトコンベアーガ行きさきごとにすごいはやさでわけているのすごいと思いました」（8歳・男の子）

「クロネコヤマトさんには、いつもお世話になっています。宅配便の方は、いつも忙しそうにしていて、「大変だな」と思っていましたが、今回見学をしてとても早く荷物を運んで、発ベースでは、ベルトコンベアーで素早く仕分けをし、オートメーション化も



進み、宅配以外のこととしていて、とてもおどろきました。これからもお世話になります！！」（13歳・女の子）

社長さんに手紙を書くことは事前に知られていなかったにも関わらず、悩みながらも一生懸命手紙を書いてくれた子どもたち。一つの企業に対し、“消費者”としてのみならず、その企業の応援団でもある“投資家”としても関わると、企業の見方も変わってくると思います。また、参加いただいた親御さんからは「親子ともども、大変興味深く、有意義な時間でした。またヤマトさんには普段からお世話になっておりますが、大変礼儀正しい方が多く、ハード、ソフトともに一流を感じました」という感想も頂きました。これこそ、コモンズ30ファンドが投資先企業の選定の際に大事にしている非財務的な「見えない価値」をお客様と共有できたのではないかと思っています。改めて、参加いただいた皆様、ヤマトホールディングス様、ありがとうございました。

マーケティング部 福本 美帆

● メディアに登場！

日付	掲載メディア	ニュース
8月1日	TV東京	マネーの羅針盤 ブルベアコンパスに糸島が出演しました
8月1日	日経電子版	「ストックオプション、社員の行使増加」で糸島がコメントしました
8月4日	日経電子版	日経ヴェリタスセレクト「カリスマ社長が去る時、リスクかチャンスか」で伊井がコメントしました
8月12日	日経電子版	「株、中国人民元切り下げがあぶり出した相場観」で糸島がコメントしました
8月15日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言で「かなえたいちいさな株主たちの思い」と題し渋澤が寄稿しました
8月21日	日経マネー	「ジュニアNISA入門」で伊井がコメントしました
8月24日	毎日新聞	東京版19面「金融教育は小学生から」で「こどもトラスト」セミナーが紹介されました
8月24日	日経新聞(夕刊)	3面「需給関係は良好 2万円台回復も」で糸島がコメントしました
8月26日	日経新聞	17面「株、信用評価損が急拡大」で糸島がコメントしました
8月31日	日経電子版	日経ヴェリタスセレクト「投資のプロが伝授 株価急落、嵐をしのぐ心構えは」で伊井がコメントしました
8月31日	日経CNBC	日経ヴェリタストークに渋澤がレギュラー出演しました

● ちょっといい話

◎相場に振り回されないコツ

世界の株式市場は、夏の後半、嵐に見舞われました。NISAをきっかけに株式投資や投資信託を始められた方や投資経験の少ない皆さんには、きっと投資は怖いものだ。大切なお金は、投資にはまわせない。と思われたことでしょう。こうした荒れた市場に直面すると誰しも、恐怖心が芽生えたりするものですが、少し市場から離れて考えてみましょう。まず、よく言われますが「投資と投機」は違います。株式投資は、本来は企業への出資です。企業への出資を判断しようとすれば、その会社の経営方針、ビジネスモデル、経営者の人柄や企业文化、中長期の業績見通しさらに業界全体の見通しが必要となるでしょう。投資する場合は、中長期の企業の成長に期待することになります。一方で株式や為替を投機対象とした場合は、短期的な価格変動の中でサヤを抜くことが中心になります。さて、今回の世界的な株価の急落局面で投機対象として株式投資をされている方は、ハラハラドキドキ、もしかしたら夜も眠れないという方がいるかもしれません。一方で、投資を目的に株式投資をされている方は、冷静にバーゲンハンティングと捉えている方も多いと思います。そこで、こうした局面では60年の投資経験を持つ、世界で最も著名な「投資家」であるウォーレン・巴菲特氏の名言から、心がまえのヒントを見つけていきましょう。

「買うのは企業であって、株ではない。株券ではなく事業に投資するのです。」⇒株価を追いかけるのではなく企業に出資をする感覚が大切ということです。「偉大な企業とは、今後25年から30年、偉大であり続ける企業のことです。」⇒長期的な視点が大切ということです。

「底値で買わなければならない、ということではありません。その企業が持っている価値が自分が考える価値より安いこと、そして正直で有能な人々によって経営をされていることがポイントです。逆に言えば、株価がその企業の価値よりも安く、しっかりととした経営陣であると確信できるのであれば、そこで利益を生むことが出来るのです。」⇒株式市場が大きく調整したとき、底値を探さなくても正直で有能な経営者がいる企業に投資をすれば、成果は期待できるということです。

当ファンドの約9割を占めるコモンズ30マザーファンドは、まさに『株価ではなく、企業への投資』という投資スタイルです。長期的な資産形成を考える皆さまが、秋の夜長、市場を気にすることなく眠れるような運用を心掛けて参ります。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

● 運用体制と役割(コモンズ30マザーファンド)

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長 ・10~20%の現金比率の決定
渋澤 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(2%~4%) ・10%以下の現金比率の決定
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
鎌田 聰	運用部 シニアアナリスト 兼 ポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 20%以上の現金比率についても、投資委員会で決定
- メンバーと役割は以下の通り

● 投資銘柄の選定プロセス



● 未来コンセプトについて

当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10				
資源・エネルギー	新素材	精密テクノロジー	ウェルネス	生活ソリューション
社会インフラ	未来移動体	快適空間	地球開発	ライフサイクル

● コモンズ30+しづぎんファンドの費用について

購入時手数料	指定販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● コモンズ30+しづぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

● お申込みメモ

信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることができます。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかつた利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

● 販売会社一覧

販売会社名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
(株)静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第5号	○	○		
マネックス証券(株)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号	○			